

2024年 第20週（5月13日～5月19日）の感染症発生動向調査情報

<今週の内容>

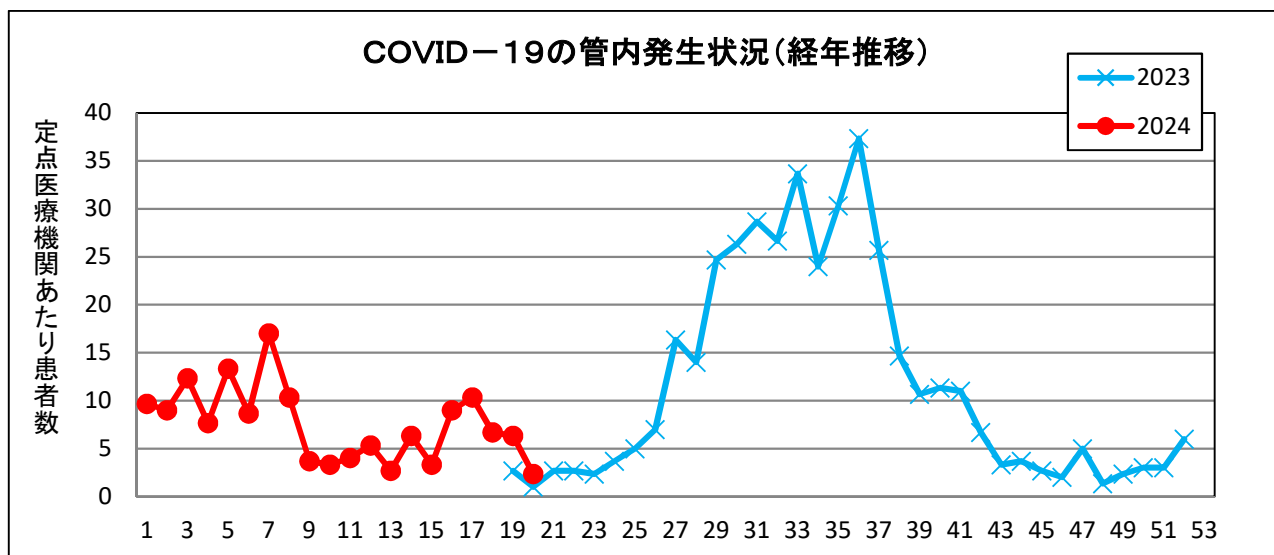
- 1 新型コロナウイルス感染症について
- 2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）
- 3 県内の感染症発生状況（劇症型溶血性レンサ球菌感染症）

1 新型コロナウイルス感染症について

管内では、定点あたり報告数は今週2.33人（先週6.33人）で先週から減少し、兵庫県内の定点あたり報告数は今週2.61人（先週2.55人）となり、先週から増加しました。地域別では、福崎保健所管内が8.00人と最も多く、宝塚保健所管内6.00人、洲本保健所管内5.38人となっており、年齢別では、10歳代が16%と最も多く、50歳代及び80歳以上が各々13%となっています。

また、県内の社会福祉施設等においては、今週5件（先週3件）の集団発生が報告されています。

県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



注) 2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は定点把握になりました。

<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する情報](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[新型コロナウイルス\(COVID-19\)関連情報ページ](#)

2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）

(1) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

第20週は、報告がありませんでした。

(2) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

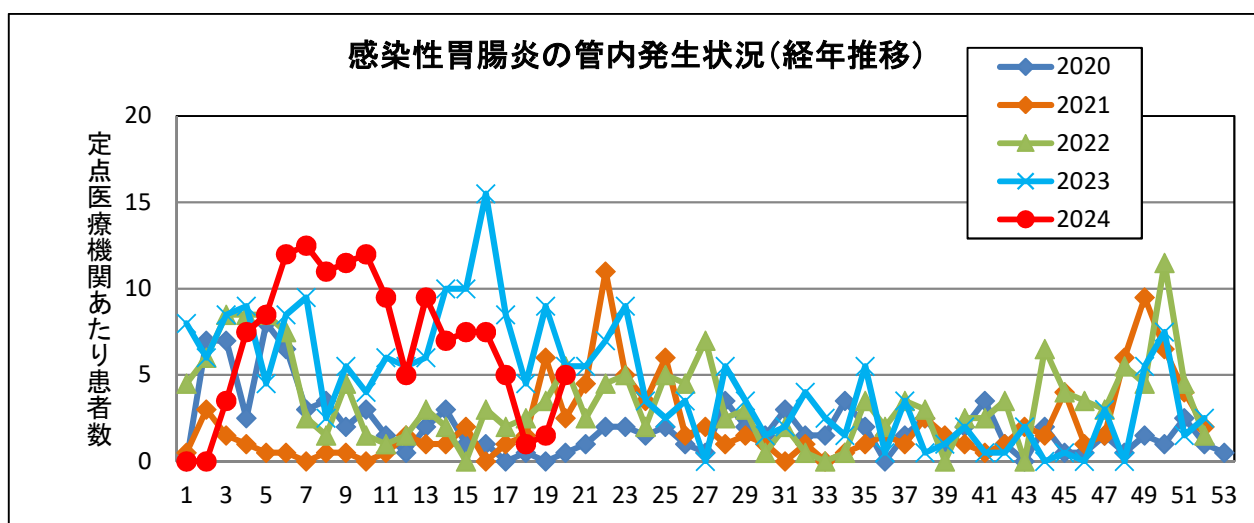
（2024年20週）※定当：定点当たり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		COVID-19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
1	0.33	2	1	-	-	6	3	10	5	-	-	-	-	-	-	3	1.5	7	2.33

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎4(ロタウイルス)	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

管内では、感染性胃腸炎の定点あたり患者数が5.00名で、先週（1.50名）から増加し、兵庫県でも7.64名で、先週（5.93名）から増加しました。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[感染性胃腸炎（ノロウイルス等）について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[感染性胃腸炎とは](#)

3 県内の感染症発生状況（劇症型溶血性レンサ球菌感染症）

県内では、令和5年に40人の患者が報告され、令和6年も第20週までの間に31人の患者が報告されており、前年を上回るペースの報告があります。また、全国においても令和5年に941人の患者が報告されており、過去最も多い届出数となりました。劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、メディアなどで「人

食いバクテリア」といった病名で、センセーショナルな取り上げ方をされることがあり、急速に多臓器不全に進行するなど重篤化する可能性がある疾患で、「溶血性レンサ球菌」が原因の細菌性感染症の一つです。感染経路としては、上気道感染のほか、傷口や粘膜からの感染がありますが、明らかになっていない場合も多くあります。予防には、手洗いなどの手指衛生、咳エチケットが重要ですが、手足等の傷口から感染する場合もあるため、傷を清潔に保つことが大切です。県民の皆様は、四肢の疼痛、腫脹、発熱などの感染の兆候が見られる場合は、速やかに医療機関を受診するようにしてください。

<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[劇症型溶血性レンサ球菌感染症について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[劇症型溶血性レンサ球菌感染症とは](#)